

○飼料添加物の評価基準の制定について（平成4年3月16日付け4畜A第201号農林水産省畜産局長・水産庁長官通知）新旧対照条文

（傍線の部分は改正部分）

改 正 後	改 正 前
<p style="text-align: center;">主たる試験の実施方法の概要</p> <p>I 効果に関する試験</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 飼料の栄養成分その他の有効成分の補給を目的とするものの試験</p> <p>(1) <u>栄養成分その他の有効成分（温室効果ガス削減を目的とする成分を除く。）の補給の効果を<u>確認する試験</u></u></p> <p><u>この試験は、ビタミン、アミノ酸、ミネラル、色素等について行う。</u></p> <p><u>実験動物又は対象家畜等を用いてその利用性等について試験を行う。</u></p> <p><u>なお、必要に応じて既指定の飼料添加物との比較を行う。</u></p> <p>(2) <u>有効成分（温室効果ガス削減を目的とする成分に限る。）の補給の効果を<u>確認する試験</u></u></p> <p><u>この試験は、ウシの暖気中の温室効果ガスを削減する資材について行う。</u></p> <p><u>ア 基礎的な試験</u></p> <p><u>この試験は、被験物質の効果を明確にし、又は推定するためのものである。</u></p> <p><u>イ 野外応用試験</u></p>	<p style="text-align: center;">主たる試験の実施方法の概要</p> <p>I 効果に関する試験</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 飼料の栄養成分その他の有効成分の補給を目的とするものの試験</p> <p><u>実験動物又は対象家畜等を用いてその利用性等について試験を行う。</u></p> <p><u>なお、必要に応じて既指定の飼料添加物との比較を行う。</u></p>

<p><u>この試験は、対象家畜等を用い、被験物質の温室効果ガス削減効果を飼養条件下において確認するためのものである。</u></p> <p><u>(7) ウシの暖気中の温室効果ガス削減効果を確認するための測定方法</u></p> <p><u>呼吸試験チャンバー又はヘッドボックスを用いた方法、スニファー法その他妥当性が確認された方法によるものとする。</u></p> <p><u>(i) 試験動物及び反復の数並びに試験期間等</u> <u>各測定方法において効果が明確になるものを選択する。</u></p> <p><u>(ii) 観察及び検査</u> <u>試験期間中、試験動物の呼気中の温室効果ガス量、一般状態等を観察する。</u></p> <p><u>作用機序によって、給与停止による効果への悪影響が懸念される場合は、必要に応じてその影響を確認する試験を実施する。</u></p> <p>4 飼料が含有している栄養成分の有効な利用の促進を目的とするものの試験 (略)</p> <p>II～XVI (略)</p>	<p>4 飼料が含有している栄養成分の有効な利用の促進を目的とするものの試験 (略)</p> <p>II～XVI (略)</p>
--	--